

ひたすら攻め続ける姿勢。
上を向き、全開で走り続ける毎日。
それは、貧乏などん底の日々を
味わってきたからこそ、体で覚えた生き方。
奈落の底、地獄の岩場から、
ガムシヤラに這い上がってきた経験。
だから、自信を持って人に言える。
成り上がりの格闘人生こそ、自らの誇り。
そんな、人間・上野真幸の、人生相談劇場。

ジャンクシヨンプロデューズブティック泉南代表

上野真幸の

道標

みちしるべ

悩める人生の特効薬

Vol.4

親が敷いたレールを歩いて行くのがおもしろくない。

僕は今年の春から、ある大学の歯学部に通っています。親は歯科医をやっている、自分は小学生の頃からなんとなく親の後を継ぐことを義務付けられている感じで、高校は大学の付属に行き、そこから大学に進学しました。でも最近、親の敷いたレールの上をそのまま歩いていくのが全然おもしろ

くなく、自分で人生を切り開いていきたい、そういう気持ちが強くなってきました。

そんな中で、今すごく興味があるのが、自分でプロシヨップを開くということです。ちなみに高校卒業前に免許を取り、30セルシオに乗ってます。若造が何を言ってるんだと怒られるかも

しれませんが、今、本気でそう思っています。

シヨップを自分で始めるには、どんな資格を取って、どんな道を進めばいいのかぜひ教えていただけませんか。うか。クルマの道に進むなら早い方がいいと思うので、大学は辞めようかと考えています。よろしくお願いします。
千葉県/サトシ 18歳 学生

まずはそのレールを全力で走りきる。夢はそこから。

自分で人生を切り開きたい。それ自体は素晴らしい考えやと思うよ。ただ、どんな資格を取ってどんな道を進めば

ど、まったく筋が通つたらん。

親が敷いたレールに乗るのが気に入らんやて？自分にとって嫌なことは拒否で、いいことは受け入れる、そんなんだのダメダメやで。

親ちゅうもんは子のためなら命はれるんや。だからあなたにとっていいことも迷惑なことも親は一生懸命なんや。だから何事にも精一杯。それが親というもんなんやで。同時に、自分が敷いたレールの上を歩かせるために、多少のわがままも許す。

18歳で30セルシオに乗れるのは誰のおかげや？親の支援なしで購入するのは難しいと思うが。この現状は、甘えるだけ甘えているという、ただのわがまま。

まずはしっかり大学を卒業すること。学校の学費だって自分で出していないでしよう？やのに中退？あぁ〜、まったく金のムダや！親の金が！！
自分の金ちゅうからなんて馬鹿な考えはやめや。今はしっかり勉強をして最強の歯科医を目指す！まずは家業をしっかり継いで親以上にやること！
ここからは僕の体験です。

僕も10代の頃、別に夢もなく、自分は親父がやっていた小さな鍛冶屋を継いで、なんとなくやって行くんやろうな〜と、毎日仕事をしていました。親の方もそれを期待して息子がこのまま自分の仕事を継ぐと思っていたやろう

し。高校は、溶接の免許などを取得するべく夜間の工業高校機械科へ。そこではもう一つ学科が選べたので自動車科を選択。結局僕はそっちにはまったわけだけ。



昼間は親父の仕事を手伝い、夜は学校。卒業後は僕も親が作ったレールの上を歩いていました。

でも、この頃僕の中で夢が芽生えてきたんです。それがクルマ。今すぐにも飛び出してやりたいとも思いましたが、そこは親を説得。自分がクルマの世界で勝負したいということや、自分がいなくなる親父の会社のこと。まあこれにはかなり時間かかりましたね。時間というより親に信頼してもらうことが難しかったです。

結局、27歳のとき親から離れ、今の会社を設立。でも数年後には親父の会社と自分の会社を合併。親父が55歳の時には引退させてあげました。
つまり、何事も結果が大事！
僕があなたに言いたいことは、親が敷いたレールを全力で走ってみよう！
うーこと！

夢はそれからでも決して遅くはない！むしろせいたくな話や！！
まず歯医者を経営して、その後プロシヨップのある歯医者を開業したらエエん。まさに夢の空間や！！
まずは親を超える。それから自分の夢を目指すや！！
(上野)

姉同然のいとこが自殺。持っていた店や2人の子どもが私の肩に。

上野さん、はじめまして。
私には2つ上のいとこがいました(仮名・ゆうこ)。小さい頃に互いの両親が離婚、ずっと姉のような存在でした。2人とも自分の母親が大嫌いで、早く大人になって一緒に住みたいね、とよく言っていました。

私が18歳のとき、ゆうこは20歳で出産そして離婚、2人の子どもを授かりました。その頃ゆうこは飲食店を経営。その後一掃し生活し始めました。
仕事の方は大成功で、ゆうこは3店舗のオーナーママになりました。私もその店で仕事を始めました。

私も結婚して子どもを授かりました。が、いろいろな理由で離婚。それでも毎日が充実し、子供の成長とともにとても楽しい日々が続いていました。
しかし突然ゆうこは自殺。22歳でした。子どもと3店舗のお店、責任が全部私に。結局、育児で2店舗を閉店、生活があるので残ったお店はなんとか切り盛りしていますが、1店舗しか残っていないプレッシャーと、ゆうこのお店は絶対に閉めるわけにはいかない思いとで、毎日がとても苦しいです。

私は20歳で子どもが3人。毎日が不安です。これからどうしたら良いですか？
(岡山県/智実 20歳)

店は後回し、まずは子どもを育てること。こんな時こそ母親を頼れ。

年齢なんか関係ない！子どもからしたらあなたは母親。今は早く母親のものと戻れ！あなたの母親やゆうこさんの母親に力を借りろ！！
あなただけの問題じゃない、子どもたちのこれからの未来。自分一人で背負うな。人間そんなに強くない！
人の死というものは人生最大の悲しい別れ。それを簡単に受け入れ、克服しろとは誰も言わない。悲しいときは悲しい、うれしいときはうれしいと素直に受け入れればいい。毎日が不安であれば、それを受け入れて徐々に不安を安心に変えていけばいいと思う。

とりあえず、お店のことは後回し、万が一があってもまだ20歳、仕事はなんとかなる。まずは育児。
子どもちゅうもんは愛情で成長するんや。子どもを解決してから仕事に取り組んだらエエ。
とにかく、自分とゆうこさんの親に頭すり込んで頼むんや。人間、頼れる人がおるんは幸せなこと。意地はつてもしょうがない。2人をしっかりとこまめに育ててくれたんやから、十分な先輩やん！いろいろ相談してみれば、答えがポンポン出てくるんやうやう！！
人間はそんな器用な生き物ちゅうから、子どもを一人前に育てることとお店の継続、この2つを達成するために一生懸命がんばればいい。世の中のほとんどの人がその2つに人生かけてる。誰もがやっていること！！

また20歳。事業も始めるとしたら早い方やで。経営はそんな簡単なもんではない。1店舗をオープンするまで、当時ゆうこさんがどれだけの努力をしたか？並々ならぬ努力の結果、自分の城を手に入れた。そして二歩目、三歩目と歩いていったわけでしょうか？あなたはゆうこさんが作り上げてきたものを継続する係ですよ。
子どもたちもお店も、ゆうこさんが生みの親ならばあなたは育ての親や！
お母さんが嫌い、そんなのはあなたたちだけで終わらせて、お母さんだ〜いい好き！！おはあちゃんだ〜いい好き！！と言わせるようにがんばれ！
(上野)

更新中!! 上野真幸のBLOG DESTINY

ブログのキャッチフレーズは「運命〜それは自分で変えるもの〜」。携帯からもOK。
<http://ameblo.jp/jpboutique/>



読者の皆様からの相談、質問、お待ちしております!!

●上野真幸が読者の皆様の相談、質問に全力でお答えします！仕事、恋愛、人間関係の悩みなど何でもOK。
〒170-8427 東京都豊島区東池袋3-7-9 (株)芸文社VIPCAR編集部 または vipmac@geibunsha.co.jp いずれも「道標」係まで。

今月の上野 VOICE

4月ももう終わり…、なんだか楽しい季節ですね〜！僕たちも設立10年を迎えまして、記念セールを行なっておりますのでよろしく!!

この一年は地震などいろいろありました。僕の会社では突然何人も重役社員が退社…。そんな中、この一年通して「こんなに強くなったことはなく、日々常にこういう気持ち」といふこと。

10年突破!! そして11年目を新たな気持ちで…。
スーパー「JUNCTION PRODUCE BOUTIQUE 泉南」を、これからよろしくです!!